

平成 21 年度 広島大学 2 次試験前期日程 (数学問題)120 分
 教育 (第一類・第二類 (技術・情報系)・第四類 (人間生活系))・
 経済 (昼)・歯 (口腔健康科学 (口腔保健))

問題 1 2 3 4 5

1 関数 $y = x - x^3$ のグラフと、その上の点 $P(t, t - t^3)$ 、および点 P における接線 ℓ を考える。ただし $t > 0$ とする。次の問いに答えよ。

- (1) $y = x - x^3$ の増減を調べ、極値を求めよ。また、そのグラフをかけ。
- (2) ℓ と $y = x - x^3$ のグラフの交点を Q とおく。ただし Q は P と異なる点とする。点 Q の x 座標を求めよ。
- (3) 三角形 OPQ の面積が 12 になるとき t を求めよ。ただし点 O は原点である。

2 以下のそれぞれの命題が真であるか偽であるかを答え、真の場合は証明を、偽の場合は反例を与えよ。

- (1) $x < y$ ならば $x^2 < y^2$ である。
- (2) $\log_2 x = \log_3 y$ ならば $x \leq y$ である。
- (3) 微分可能な関数 $f(x)$ が $f'(a) = 0$ を満たすならば、 $f(x)$ は $x = a$ において極値をとる。
- (4) n が 2 以上の自然数ならば、 $1 + 2 + \cdots + n$ の約数の中に 3 以上の奇数がある。

3 座標平面上の定点 P と、関数 $y = f(x)$ のグラフ上を動く点 Q を考える。このとき、点 P と点 Q の距離 PQ の最小値を、点 P と $y = f(x)$ のグラフの距離と呼ぶことにする。次の問いに答えよ。

- (1) 点 $P_1 \left(0, \frac{1}{3}\right)$ と $y = x^2$ のグラフの距離 d_1 の値を求めよ。
- (2) 点 $P_2 \left(0, \frac{5}{4}\right)$ と $y = x^2$ のグラフの距離 d_2 の値を求めよ。また、 $d_2 = P_2R$ となる $y = x^2$ のグラフ上の点 R をすべて求めよ。
- (3) 点 P_2 を中心とする半径 d_2 の円と $y = x^2$ のグラフで囲まれた部分の面積 S を求めよ。

4 四面体 OABC において,

$$\angle AOB = \angle AOC = \frac{\pi}{2}, \quad \angle BOC = \frac{\pi}{3}, \quad OA = OB = 2, \quad OC = 1$$

とする. 3 点 A, B, C を通る平面上の点 P を考え, $\overrightarrow{OP} = \vec{p}$ とする.

$\overrightarrow{OA} = \vec{a}$, $\overrightarrow{OB} = \vec{b}$, $\overrightarrow{OC} = \vec{c}$ とするとき, $\vec{p}$ は実数 s, t を用いて

$$\vec{p} = (1 - s - t)\vec{a} + s\vec{b} + t\vec{c}$$

と表される. このとき, 次の問いに答えよ.

- (1) 内積 $\vec{p} \cdot \vec{a}$, $\vec{p} \cdot \vec{b}$, $\vec{p} \cdot \vec{c}$ を s, t を用いて表せ.
- (2) 点 P が $\angle AOP = \angle BOP = \angle COP$ を満たすとき, s, t の値を求めよ.
- (3) (2) の条件を満たす点 P について, 直線 AP と直線 BC の交点を Q とする. BQ : QC を求めよ.
- (4) (2) の条件を満たす点 P について, 2 つの四面体 OABP と OACP の体積の比を求めよ.

5 2 人のプレイヤー A, B が対戦を繰り返すゲームを行う. 1 回の対戦につき A が勝つ確率は p であり, B が勝つ確率は $1 - p$ であるとする (ただし $0 < p < 1$). A と B は初めにそれぞれ 2 枚の金貨を持っている. 1 回の対戦につき勝者は敗者から 1 枚の金貨を受け取る. 対戦を繰り返して一方のプレイヤーがすべての金貨を手に入れたとき, ゲームを終了する. ちょうど n 回の対戦で A がすべての金貨を手に入れる確率を P_n とする. ただし n は自然数とする.

- (1) P_2 と P_4 を求めよ.
- (2) P_{2n-1} を求めよ.
- (3) P_{2n} を求めよ.
- (4) $2n$ 回以内の対戦で A がすべての金貨を手に入れる確率 S_n を求めよ.

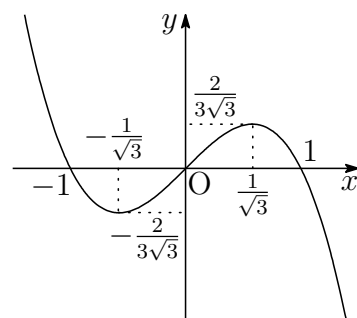
解答例

- 1 (1) $y = x - x^3$ より $y' = 1 - 3x^2$

x	$\cdots$	$-\frac{1}{\sqrt{3}}$	$\cdots$	$\frac{1}{\sqrt{3}}$	$\cdots$
y'	$-$	0	$+$	0	$-$
y	$\searrow$	$-\frac{2}{3\sqrt{3}}$	$\nearrow$	$\frac{2}{3\sqrt{3}}$	$\searrow$

よって $x = -\frac{1}{\sqrt{3}}$ のとき極小値 $-\frac{2}{3\sqrt{3}}$

$x = \frac{1}{\sqrt{3}}$ のとき極大値 $\frac{2}{3\sqrt{3}}$



- (2) 曲線 $C: y = x - x^3$ 上の点 $P(t, t - t^3)$ における接線 ℓ の方程式は

$$y - (t - t^3) = (1 - 3t^2)(x - t)$$

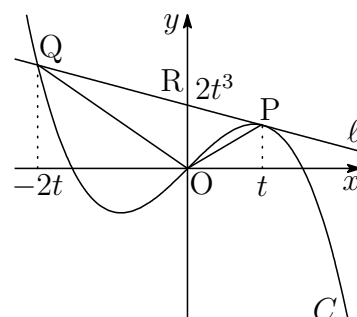
すなわち $y = (1 - 3t^2)x + 2t^3$

C と ℓ の方程式から y を消去すると

$$x - x^3 = (1 - 3t^2)x + 2t^3$$

したがって $(x - t)^2(x + 2t) = 0$

よって、 Q の x 座標は $x \neq t$ であることに注意して $x = -2t$



- (3) ℓ と y 軸の交点を R とすると

$$\triangle OPQ = \triangle OPR + \triangle OQR = \frac{1}{2} \cdot 2t^3 \cdot t + \frac{1}{2} \cdot 2t^3 \cdot 2t = 3t^4$$

$\triangle OPQ = 12$ より $3t^4 = 12$ ゆえに $(t^2 + 2)(t^2 - 2) = 0$

$t > 0$ に注意して、これを解くと $t = \sqrt{2}$



- 2** (1) $x = -2, y = -1$ とすると, $x < y$ であるが $x^2 > y^2$
したがって, 本命題は偽である.
- (2) $x = \frac{1}{2}, y = \frac{1}{3}$ とすると, $\log_2 x = \log_3 y$ であるが $x > y$
したがって, 本命題は偽である.
- (3) $f(x) = (x - a)^3$ とすると, $f'(a) = 0$ を満たすが, $f(a)$ は極値ではない.
したがって, 本命題は偽である.
- (4) $S = 1 + 2 + \cdots + n = \frac{1}{2}n(n + 1)$
連続する 2 数 $n, n + 1$ の一方は奇数である.
 $n \geq 2$ から, S の約数の中に 3 以上の奇数がある.
したがって, 本命題は真である. ■

- 3 (1) $P_1\left(0, \frac{1}{3}\right)$, $Q(x, x^2)$ より

$$P_1Q^2 = x^2 + \left(x^2 - \frac{1}{3}\right)^2 = x^4 + \frac{1}{3}x^2 + \frac{1}{9} = \left(x^2 + \frac{1}{6}\right)^2 + \frac{1}{12}$$

$x^2 = 0$, すなわち, $Q(0, 0)$ のとき, P_1Q は最小となるから $d_1 = \frac{1}{3}$

- (2) $P_2\left(0, \frac{5}{4}\right)$, $Q(x, x^2)$ より

$$P_2Q^2 = x^2 + \left(x^2 - \frac{5}{4}\right)^2 = x^4 - \frac{3}{2}x^2 + \frac{25}{16} = \left(x^2 - \frac{3}{4}\right)^2 + 1$$

$x^2 = \frac{3}{4}$ のとき, P_2Q は最小となるから $d_2 = 1$

このとき, 点 R は $\left(\pm\frac{\sqrt{3}}{2}, \frac{3}{4}\right)$

- (3) $R\left(\frac{\sqrt{3}}{2}, \frac{3}{4}\right)$, $R'\left(-\frac{\sqrt{3}}{2}, \frac{3}{4}\right)$ とすると

$$\angle RP_2R' = \frac{2}{3}\pi$$

P_2 を中心とする半径 1 の円で, 直線 RR' の下側の部分の面積を S_1 とすると

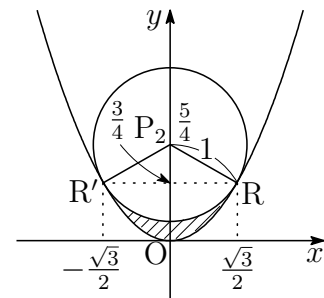
$$S_1 = \frac{1}{2} \cdot 1^2 \left(\frac{2}{3}\pi - \sin \frac{2}{3}\pi \right) = \frac{\pi}{3} - \frac{\sqrt{3}}{4}$$

放物線 $y = x^2$ と直線 $RR' : y = \frac{3}{4}$ で囲まれた部分の面積を S_2 とすると

$$\begin{aligned} S_2 &= \int_{-\frac{\sqrt{3}}{2}}^{\frac{\sqrt{3}}{2}} \left(\frac{3}{4} - x^2 \right) dx \\ &= \int_{-\frac{\sqrt{3}}{2}}^{\frac{\sqrt{3}}{2}} \left(\frac{\sqrt{3}}{2} + x \right) \left(\frac{\sqrt{3}}{2} - x \right) dx = \frac{1}{6}(\sqrt{3})^3 = \frac{\sqrt{3}}{2} \end{aligned}$$

よって, 求める面積を S とすると

$$S = S_2 - S_1 = \frac{\sqrt{3}}{2} - \left(\frac{\pi}{3} - \frac{\sqrt{3}}{4} \right) = \frac{3\sqrt{3}}{4} - \frac{\pi}{3}$$



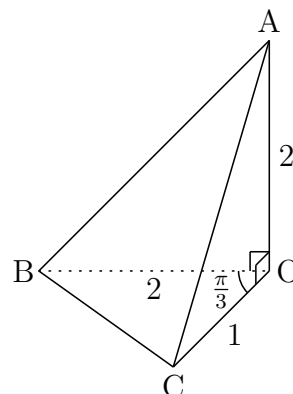
4 (1) $\angle AOB = \angle AOC = \frac{\pi}{2}$, $\angle BOC = \frac{\pi}{3}$,

$$|\vec{a}| = |\vec{b}| = 2, |\vec{c}| = 1 \text{ より}$$

$$\vec{a} \cdot \vec{b} = |\vec{a}| |\vec{b}| \cos \frac{\pi}{2} = 0$$

$$\vec{b} \cdot \vec{c} = |\vec{b}| |\vec{c}| \cos \frac{\pi}{3} = 1$$

$$\vec{c} \cdot \vec{a} = |\vec{c}| |\vec{a}| \cos \frac{\pi}{2} = 0$$



したがって

$$\vec{p} \cdot \vec{a} = \{(1-s-t)\vec{a} + s\vec{b} + t\vec{c}\} \cdot \vec{a} = 4(1-s-t),$$

$$\vec{p} \cdot \vec{b} = \{(1-s-t)\vec{a} + s\vec{b} + t\vec{c}\} \cdot \vec{b} = 4s + t,$$

$$\vec{p} \cdot \vec{c} = \{(1-s-t)\vec{a} + s\vec{b} + t\vec{c}\} \cdot \vec{c} = s + t,$$

(2) $\angle AOP = \angle BOP = \angle COP$, $|\vec{a}| = |\vec{b}| = 2|\vec{c}|$ であるから

$$\vec{p} \cdot \vec{a} = \vec{p} \cdot \vec{b} = 2\vec{p} \cdot \vec{c}$$

したがって, (1) の結果から

$$4(1-s-t) = 4s + t = 2(s+t) \quad \text{これを解いて} \quad s = \frac{2}{9}, \quad t = \frac{4}{9}$$

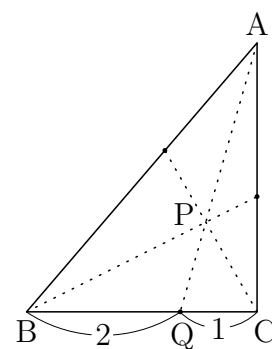
(3) (2) の結果より, $\vec{p} = \frac{1}{3}\vec{a} + \frac{2}{9}\vec{b} + \frac{4}{9}\vec{c}$ であるから

$$3(\vec{a} - \vec{p}) + 2(\vec{b} - \vec{p}) + 4(\vec{c} - \vec{p}) = \vec{0}$$

$$3\vec{PA} + 2\vec{PB} + 4\vec{PC} = \vec{0}$$

$$\text{ゆえに} \quad \vec{AP} = 2 \cdot \frac{\vec{PB} + 2\vec{PC}}{3} = 2\vec{PQ}$$

$$\text{よって} \quad \mathbf{BQ : QC = 2 : 1}$$



(4) (3) の結果から $\triangle PAB : \triangle PCA = 2 : 1$

よって, 四面体 OABP, OCAP の体積比は **2 : 1**



5 (1) P_2 は A が 1 戦目と 2 戦目に勝つ確率であるから $P_2 = p^2$

P_4 は A が 2 回対戦した時点で 1 勝 1 敗で、3 戦目と 4 戦目に勝つ確率であるから

$$P_4 = 2p(1-p) \times p^2 = 2p^3(1-p)$$

(2) $2n-1$ 回対戦した時点で A の金貨の枚数は 1 枚か 3 枚であるから

$$P_{2n-1} = 0$$

(3) $2n$ 回対戦した時点で A の金貨の枚数が 2 枚である確率を a_n とすると

$$a_1 = 2p(1-p), \quad a_{n+1} = 2p(1-p)a_n \quad \text{すなわち} \quad a_n = \{2p(1-p)\}^n$$

$$P_{2n} = p^2 a_{n-1} \quad \text{であるから} \quad P_{2n} = p^2 \{2p(1-p)\}^{n-1}$$

(4) (3) の結果から

$$\begin{aligned} S_n &= \sum_{k=1}^n P_{2k} = p^2 \sum_{k=1}^n \{2p(1-p)\}^{k-1} \\ &= p^2 \cdot \frac{1 - \{2p(1-p)\}^n}{1 - 2p(1-p)} \end{aligned}$$

■